

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2021年SDGs対応版 適用編 (使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_20219DGs(v2.3.5))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)宇治市学校給食センター整備	階数	地上2F
建設地	京都府宇治市五ヶ庄三番割25-38	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,800時間/年(想定値)
建物用途	事務所工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年4月 予定	評価の実施日	2025年2月3日
敷地面積	7,907 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	2,584 m <sup>2</sup>	確認日	2025年2月3日
延床面積	3,432 m <sup>2</sup>	確認者	

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
① 参照値 100%  
② 建築物の取組み 89%  
③ 上記+②以外の 79%  
④ 上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.3

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
全館禁煙とし空気環境に配慮した	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 事務室等には壁、床に吸音効果のある内装材を採用し室内環境に配慮した	<b>Q2 サービス性能</b> 防汚性の高い内装材を採用し、維持管理性能に配慮した	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明など高効率機器を採用し、BEIm低減に配慮した	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水効果の高弁服音装置付き便器や泡沫キャップ付きの水栓を採用し、節水に配慮した	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告照明を設けないことで周辺環境への光害対策とした

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される